

またあいつ

精像宗字題

第83号
令和5年7月15日
発行者
福島県公立学校
退職校長会
北会津支部
齋藤秀一

「組織の力を活かす」

支部長 齋藤 秀一



令和五年四月の総会において支部長を仰せつかり、星支部長の後任を務める事になりました。もともと浅学非才の私では有りますが事務局の皆様や幹事の皆様方からの協力を得ながら、本会の目的を達成するよう務めて参りますので、御支援宜しく願います。

さて、本年度はコロナも落ち着いて、マスクの着用も緩やかになってきたため、支部総会の日に講演会も併せて実施する事にしました。

会津教育事務所長吉川武彦様に「令和五年度の教育」という演題で講演していただきました。四月に赴任されたばかりの所長様にとってはご迷惑だったと思いますが、与えられた短い時間の中で、県の総合教育計画と、会津域内の現状について、その「強み」から「弱み」まで、歯に衣着せない語り口でお話ししてくださいました。その内容は研究部の今後の研修会に生かせると思いました。

次に、今後の会合についてですが、その取り組む姿勢として、人と人が直接接して交流を深めていく機会を大切にしていく事。仮にコロナの心配が再燃し、会

の運営規模を縮小せざるを得ない状態になっても、これまで積み重ねてきたノウハウや知的財産等は寸断される事の無いように留意し、取り組んでいくつもりです。

それから、各部の活動についてですが、広報部は、読んで楽しくしかも分かりやすい紙面の工夫や興味深いテーマの選択等に心掛け、推敲を重ねてきています。

「学校と地域の連携協働を深める為に」というテーマは広報部だけでなく、研究部でも現職・退職校長会教育懇談会で取り上げ、研修を深めていく予定でいます。

福祉部では、新設校猪苗代中学校訪問を計画しています。この学校は、環境・エネルギー・防災について先進的であり、地中熱交換システム活用・地域防災拠点としての役割も担っている学校です。是非参観をお勧めします。

私としては、各部の活動が活気を帯び、やり甲斐を持って進められるよう支えていく覚悟です。

支部総会 ～四年ぶりに講演会も開催～

齋藤秀一支部長選出

令和五年度の退職校長会北会津支部総会は、去る四月九日(日)、會津稽古堂で開催され、新入会員を含め、四十七名が参加した。

開会の言葉に続き、国歌静聴、物故会員九名への黙祷、星憲隆支部長の挨拶が行われた。

続いて、新入会員十名の紹介があり、代表して小林義弘様より挨拶があった。

次に、米寿・喜寿を迎えられる会員へ支部長より記念品が贈呈され、「賀詞」を受けられる福田試作様から代表して挨拶があった。

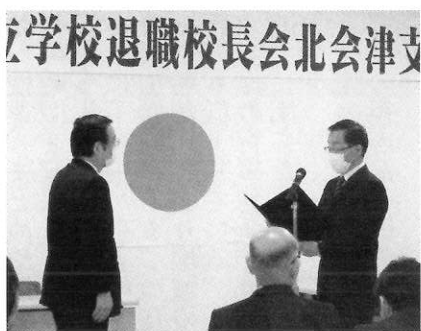
また、春秋の叙勲で「瑞

寶雙光章」を受章された菅家敏之様、「東北地区社会教育委員連絡協議会長表彰」を受けられた星美法様より挨拶があった。

議事では、湯野尻強様が議長に選出され、令和四年度事業報告並びに会計報告、令和五年度事業計画(案)並びに予算(案)について審議され、承認された。

二年に一度の役員改選では、齋藤秀一副支部長が支部長に選出され、新たなスタートが切られた。

その後、四年ぶりに会津教育事務所長 吉川武彦様による講演会も開催された。



前星支部長へ感謝状贈呈

新役員紹介

支部長	齋藤 秀一
副支部長	栗原 孝明
同	川上 関男
同	菊池 芳次
同	渡部 四郎
同	渡部 毅
同	小野 俊夫
同	本田 樹
幹事	兼子 栄一
副幹事	

講演の概要
演題

「令和五年度の教育」



会津教育事務所
所長 吉川 武彦 氏

講師紹介

飯館村で義務教育学校長を務める。
福島県教育庁義務教育課主任指導主事、主幹を経て現職。

1 はじめに

退職校長会の皆様方には、子どもたちのため先生方のため、ご協力ご支援いただいていることに、心より感謝申し上げます。
会津若松市は、私の父の出身地であり、よく訪れたなじみ深い土地である。会津の地で勤務できることに喜びを感じている。また、米代に居ながら通動している。城に登城するように心がけ、会津の教育が引き継ぎ、

の進展のため誠心誠意取り組まなければならないの気が湧いてくる。

2 福島県総合教育計画

令和四年度、県総合教育計画を受け、第七次福島県総合教育計画がスタートした。目指すべき姿は、「個人と社会のWell-being（一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ）の実現」である。そのために、「急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができ、学びの方向性として、

「福島ならでは」の教育の充実をあげた。その一つとして、福島の課題を題材とした学びがある。例えば、校長のとき私が勤務していた飯館村では、まだまだ震災の影響が残っている。避難先から一時間以上バスに乗って通学してくる子どももいた。飯館の現状は時折報道で取り上げられるが、子どもたちも親もそれ以上の目に見えない苦労を抱えている。この困難に目を背けることなく総合的な学習の時間等で取り上げ考えることは、「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育にも通ずる。浜通りでは最先端のロボット技術も向上し、これらも福島で

学び、福島に誇りを持つことができ「福島を生きる」教育につながる。会津においても「会津ならではの」教育に力を入れていきたい。

また、全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行・画一的な授業等から、「個別最適化された学び」、「協働的な学び」、「探究的な学び」へと学び方の変革を進めることが重要である。その一つとして一人一台配付されているタブレットの活用は有効な手段である。また、「子どもたち一人一人に必要な力を確実に育成していく」という本来の学校の役割を果たすことができるよう、学校・家庭・地域が広く認識を共有し、学校の在り方の変革を進めることも重要である。

福島県教育委員会では、「学びの変革を柱として、学びの変革によって資質・能力を確実に育成する」等の六つの施策に取り組んでいる。
3 会津域内の教育推進
会津域内の教育の現状は、子どものよい点や可能性を見出し、学びを支える学級集団づくりを行っている等の強みがある。しかし、小・中学校ともに全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国や県より低いという弱みもある。また、話し合いのコーディネートが十分で

ない授業、まとめや振り返りの時間を確保していない授業も少なからず見られる。さらに不登校が小・中学校で増加傾向にある。つながりの希薄化により地域の教育力も低下している。

会津教育事務所では、人間力に満ちた人材の育成、学びをつなぐ・育ちをつなぐ会津の教育を目標に、六つの視点から取り組んでいる。
例として、視点一「学びの変革」の推進では、「ステップアップ」を開催し、具体的・実践的な授業の進め方や学習方法の講義・演習を行い教員の指導力向上を支援することや、各校で個に応じた指導の実現に向け、全国・県学力調査の分析・活用方法に関する研修を実施している。

また、視点六「持続可能な教育環境づくり」では、学校全体の教育力向上を図るため、校長研修会等において研修を充実させ、校長によるチームとしての学校マネジメントが機能するように支援していくこととしている。
4 終わりに
退職校長会の皆様には、会津の子どもたちのために今後、学びの変革に向けての授業づくりのアドバイス等をいただくとありがたい。

四年ぶりの県大会開催

第五十七回福島県公立学校退職校長会郡山大会が、令和五年六月十四日、郡山ビューホテルアネックスを会場に四年ぶりに開催された。北会津からは、九名が参加した。初の試みとしてオンラインによるネット配信が行われた。

体験発表に感動を覚えた。福島支部の宍戸仙助氏は、ベトナム・ラオスの山岳少数民族の貧しい村々に学校建設などの支援を行っていること、南会津支部の小林宗一氏は、「日本遺産御蔵入り三十三観音」について書籍にまとめられたこと、相馬支部の吉田雄二氏は障がい者の生活支援や作業支援を行っていることについて発表された。

人生百年時代、退職後も己の使命を見つけ、社会とのつながりを持ち、自分らしく生きることの大切さを教えられた大会となった。



一堂に会した県大会

「いきいき百歳体操」 で楽しく健康に

岩 沢 隆



いつの間にか馬齢を重ねて喜寿を迎えました。週に一回「いきいき百歳体操」

に参加しています。

いきいき百歳体操は、いつまでも元気で生活でき、それに必要な筋力がアップされるようにできています。手首や足首におもりをつけて、一回に約四十分間行い、これを続けることによって、筋力がつき、転倒しにくくなり、ケガや骨折の予防につながるといわれています。この体操は、高知市で考案され、今では全国各地で

行われているそうです。私の住む地区でも、市高齢福祉課や地域包括支援センターの提案で昨年より始まりました。

地区の集会所には、毎回三十人位集まります。参加すると、夏休みのラジオ体操カードのような手帳にスタンプが押されます。そのスタンプ数に応じてポイント券(つなポン券)がもらえます。つなポン券は市内

の協力店で金券として利用できるというおまけの楽しみもあります。それに、以前自宅でやっていた「テレビ体操」のように一人でやるのではなく、会場みんなでいっしょにやるので長く続けられそうです。

定期的に体力測定も行われます。関節痛の有無を調べたり、左右の握力・五回立ち座り・速歩きなどを測定したりするので、自分の

体力を知る機会になります。コロナの分類が二類から五類になり、コロナ禍以前のような活動ができるようになってきました。この百歳体操を通して、これまでに以上に住民同士のつながりが深まり、地域づくりになることを願っています。

人生百年時代、健康だけでなく、社会とのつながりも保ち、積極的に生きていきたいと思っています。

随 想

改造人間に ならないように

栗 村 謙 一



退職校長会より「喜寿」のお祝いを頂き、ありがとうございました。これを機

会に、あらためて自分の健康について見つめ直してみました。

大学に進学する時、『これからの医学は、病気を治す事ではなく、健康な人間を作ることが本当の医学である』という大学の理念に共感し、「医学部と体育学部」しかない小さな大学を選択しました。

確かに大学では、学術的な実験や実習を数多く学ぶ

ことが出来たし、自分の競技力向上や身体も鍛えることが出来ました。

当時体育の授業では「体力作りや健康作りがブーム」で生徒にも健康の大切さや体力作りの実践を指導してきたはずなのに、今の自分の身体は見るも無残であり、身体の不具合や痛みがある

ので医師のもとを訪ねると【老化】の一言で片づけられます。

その上身体の部品の交換まで要求され、膝は「変形性膝関節症」で両膝には人工関節が入っており、目も白内障で人工の水晶体が入っています。身体の部品は交換だけではなくアフターケアをしなければ正常に働いてはくれません。

人工関節にしたのに膝が痛いので病院に行ってみると、膝関節の周りの筋肉をしっかりと鍛えないと十分に

機能しないのだそうです。若い時のような筋力の増強は必要ないが、「足」「腕」「腰」「肩」の補強と筋力の柔らかさが重要です。人に教えるくらい知っていても【実践しなければ】何もありません。

今世間ではフレイルという言葉で伝えられています。内臓を含めて、改造人間にならないために、毎日の実践に頑張りたいです。

実践に頑張りたいです。

悠悠生け花展

花に癒やされて

大竹 静江

私は平成十年にいけばなを始め花歴は二十五年になった。初等科の頃いけ方をまねるのが精一杯。管理職になった頃、土曜日の稽古日に花をいける時間を大切に。癒やしのひとときであり、心の栄養となった。

○小原流会津支部創立五十年記念花展作品（平成二十五年）



希望

○上級者になると水盤の中で自然景観を表現する写景盛花様式本位を学ぶ。燕子花や花菖蒲や水仙など葉組があり難しいが、いけ上が



水仙写景盛花

ると楽しく清々しい。

○コロナ禍前（令和元年）の花展 水揚げが難しかった藤と石楠花と楓の作品



風に揺れる藤

○令和二年会津支部長になった年はコロナ禍で花展は中止。ようやく令和四年十月に「花で笑顔に、花で癒やしを」と花の力を信じ花展を開催することができた。

今年四月の花展は「愛でる会津の春」

のテーマで開催。会場は春爛漫で皆で学び合った。



山笑う

北会津公民館主催の「お茶の間広場」でいけ花を教えたり、市長室の花いけの機会もある。楽しいと思えることが長続きの原動力。

今年では会津華道教授連合会会長として、九月の諸流いけばな展にむけて皆で協力して頑張りたい。

新入会員紹介

心より歓迎致します。

- 横山 譲治 様（城西小）
 - 佐藤 俊一 様（日新小）
 - 星 尚志 様（松長小）
 - 古川 徹 様（門田小）
 - 大塚 進一 様（城南小）
 - 小林 義弘 様（小金井小）
 - 小林 稔 様（若松二中）
 - 藤田 信一 様（若松四中）
 - 遠藤 修一 様（河東学園）
 - 押部 秀隆 様（喜多方二中）
- （ ）内は最終勤務校

横山 譲治

城西小学校で定年退職を迎え、今は週三日、会津若松市教委学教課で教育ICTアドバイザーを務めつつ、家族の時間を増やす生活を心がけています。皆様よろしくお願いたします。

佐藤 俊一

日新小学校で定年退職を迎え、四月から、再任用教員、初任者研修コーディネーターとして、勤務しております。

今後とも、御指導よろしくお願いたします。

星 尚志

四月から、坂下南を拠点として、笈川、勝常、本郷、高田、そして西会津の各小学校へ、初任研をコーディネートすべく奔走してまいります。お導きのほどよろしくお願い申し上げます。

古川 徹

四月から、中央公民館神指分館にお世話になっていきます。毎日多くの方が本館で活動されており、その方々や地域の皆さんから元気をもらっています。今後ともよろしくお願いたします。

大塚 進一

城南小で定年退職を迎え、四月から裏磐梯小で非常勤講師として再スタートしました。子どもたちの学力向上と自分の健康増進のために、笑顔を絶やさず、楽しみながらがんばります。

小林 義弘

四月から会津准看護高等専修学校の事務長として、毎日慣れない仕事に四苦八苦しなながらも、何とかやっています。まずは健康第一でがんばります。よろしくお願いたします。

小林 稔

若松二中で定年退職し、会津若松市の地域運動部活動の仕事と実家の農業の二足の草鞋で過ごし始めました。地域の力の大きさに改めて感謝しながら毎日を送っています。

藤田 信一

四月から再任用校長として、小規模特認校の大戸中学校に勤務しています。新型コロナウイルス対応も落ち着き、本来の学校の姿が戻りつつあります。もう少し、学校現場で頑張ります。

遠藤 修一

退職後は、断捨離の毎日ですが、まだまだ終わりが見えません。もっとのんびりできるはずだったので、が・・・これからお世話になります。よろしくお願いたします。

押部 秀隆

喜多方二中で定年退職を迎え、五月から西会津町教育委員会週三日、学校教育アドバイザーとして勤務しています。今後とも、よろしくお願いたします。

両面刷りの名刺

二瓶重和

定年退職した翌年度からスクールカウンセラーとして小・中・高等学校で勤務しています。今年度は火曜日はA中学校、水曜日はB中学校、木曜日の午前中はC小学校で午後はD高等学校、そして金曜日はE高等学校に勤務しています。また、昨年度からは月曜日にF専門学校で「人間関係論」の授業を担当していますので、忙しく充実(?)した毎日を送っています。

私の名刺は両面刷りです。表面は「福島県公立学校スクールカウンセラー」の肩書きと六つの関連資格、裏面は「川(カワ)ンセラ」の肩書きで、川や湖を中心とした自然体験活動や野生生物(主に植物)の調査等にかかわる五つの所属団体を記載してあります。(「あなたのアイデンティティは何なのか」と問われそうですが…)。

日曜日は、主に「阿賀川・川の達人の会」関連の活動に携わっています。大人を対象とした「川に学ぶ体験活動指導者養成講座」である「会津めだか塾」と、子どもを対象とした「阿賀川・子どもアドベンチャークラブ」が代表的な活動です。

学校でのカウンセリングの中で、登校できずに悩み迷い苦しんでいた子が、勇気を出して再登校・学級復帰を果たします。また、川遊びで思いっきり叫んだり全身で流れる水を感じながら、暗い表情だった子が明るさや笑顔を取り戻します。

現職のころは「オレがこの子たちを支えている」という、ある意味「上から目線」のような感覚でいたのですが、カウンセラーとして、また川ンセラとして、様々な子どもたちが勇気を出して新しい一歩を踏み出す姿に出会いながら、実は私自身が「この子たちから『元気』や『大丈夫感覚』をもらっているのだ」と気づかされています。



阿賀川・子どもアドベンチャークラブで「川流れ」を楽しむ子どもたち

悠悠ひろば

からだを動かす

渡部良一

退職して八年目。思い返せば十二年前、人間ドックで膵臓に異常が見つかった。検査入院の結果、良性腫瘍であった。三年後、良性腫瘍の中に水疱ができた。将来ほとんど間違いなく悪性になると言われた。

退職した年の夏、水疱のある膵臓の頭部、胆のう、十二指腸を切り取り、小腸とつなぐという約七時間の手術を受けた。四十日の入院で体重が十キロ以上落ちた。

あれから、二ヶ月毎に診察を受け、いつも言われたのは「太るな、体重を増やすな」だった。心がけているのは、「できるだけ体を動かすこと、汗をかくこと」である。

春、雪解けとともにそれが始まる。実家の農作業と山菜採り、体重を減らす絶好の時。五月連休前後、朝は四時過ぎに起き、薄暗いうちに山に入り、自分のテリトリーというべき場所に着く頃、あたりは明るくなる。先ずはコゴミ、ドウホウ、ウド、二時間半ほど斜面を登ったり降



自宅裏の畑で

りたりしながら採ると、リュックサックにいっぱいになる。丈夫なビニル袋にも採ると大体三十〜四十キロ位になる。これを背負って山道を二十分程降りた所に車が置いてある。背中の重みが心地いい。

数日後にはエラ、ウルイ、続けてワラビが出るようになる。今はワラビ。昔、家の畑だった所で一時間半ほど採ると籠にいっぱい(約二十キロ)になる。

山菜の後処理に続いて畑仕事。今までジャガイモ、ナス、キュウリ、ピーマン、オクラ、赤唐辛子、サトイモ、カボチャなどを植え付けた。これからサツマイモ、枝豆など。ジャガイモ収穫の後は白菜、大根だ。こうして、秋のキノコ採りまで充実した健康生活。働いた後の晩酌がこれまたうまい!

学校へ行こう! 地域学校協働活動

会津若松市の取組

統括コーディネーター

齋藤 茂

地域学校協働活動とは、地域全体で子ども達の学びや成長を支えながら、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して行う活動で、次の二つが行われています。

地域の方々が、ボランティアとして学校に入り、教育活動のお手伝いをする学校支援を中心とした活動が市内全小中学校で実施されています。学習時の先生の補助、見守り、講話など様々なニーズがあります。

また、放課後や週末の子どもたちの安全・安心な居場所として、小学校や公民館等で、地域の方々の協力も得ながら、様々な体験の機会を提供する「放課後子ども教室」が十三ヶ所で行われています。

会員の方にもコーディネーター

ターやボランティアとして協力をいただいています。協働活動を通して

コーディネーター

林 泰嗣

小金井小学校では、地域の皆様のご協力のもと、朝のあいさつ運動や見守り活動、読み聞かせ、花壇整備、学習支援等が行われてきました。

左の写真は六年家庭科「トートバッグ作り」での一場面です。家庭科室において、二、三人につき一台のミシンが準備され、四名のボランティアの方が支援に当たりました。ミシンの上糸のかけ方や下糸の引き上げ方、アイロンのかけ方など、子どもの困り感や求めに応じて支援しています。



6年家庭科ミシン学習支援

二時間続きの授業でしたがあっという間に終了してしまいました。ボランティアの方からは、「子どもが素直に聞いてくれてうれしい」「生活にメリハリができて、子どもたちから元気をもらった」等の感想が聞かれました。この活動は、学校にとっては「社会に開かれた教育課程」の実現や子どもたちの学びの充実が期待されています。さらに、ボランティアの方にとっては、ご自身の経験や知識・技能等を教育の場に生かすことで生きがいづくりにもつながります。

地域の方に支えられて

会津若松市立湊小学校
校長 齋藤 園子

本校では、湊公民館の「みなと応援隊」に登録されている「学習支援ボランティア」の方々が、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の方と共に教育活動の支援や環境整備をしてくださっています。

〈主な活動内容〉

○読み聞かせ
語り部の方が年に八回、放課後に民話や昔話を一、三年生に聞かせてくださっています。



5、6年こづゆ作り

○総合的な学習での支援
鷺草植栽、野菜苗植え、

田植え、稲刈り、学校林・川の学習、福祉施設訪問、豆腐もち作り、こづゆ作り

○教科での支援（生活科）
野菜苗植え、生き物探し、昔遊び、団子さし

○教科での支援（家庭科）
調理実習、ミシン縫い、手縫い

○教科での支援（体育科）
クロスカントリースキー

○環境整備
畑耕し、花壇除草、図書整理、窓拭き

湊地区は継続的な支援体制が整っているため、学校との連携がスムーズに行われています。お陰様で、地域やボランティアの方々と交流を通して、児童の地域への愛着・信頼の深まり、学校との良好な関係づくり等の効果が得られています。

今後は、児童の「ふるさとへの誇り」をより一層培うために、湊地区ならではの地域資源を、学習材として開発するための支援もいただきたいと考えているところです。

阿久津 光俊

妻の実家の田植え手伝い時、田植機から降りる瞬間左手薬指に激痛。指輪が皮をめくり上げゴム手袋の中心で出血。キズもよくなり九日後、石けん効果で変形していた指輪が無事抜けた。

川島 宏

古傷の膝と腰の痛みを伴い三月末迄週三ペースでスキーを楽しみ、春は散歩を兼ね山の恵みを求める。秋迄は、各種の陸上競技や駅伝・ロードレース大会の運営と日帰り登山を楽しむ。

酒井 宏

退職して、初任者指導教員を始めて四年目になりました。若い新任の先生と触れ合え気分もリフレッシュできますが、子どもも親も変化して、先生方も大変だと思う今日このごろです。

高石 寛治

実によく聞こえる補聴器の助けを借りている此の頃。WBC侍ジャパンの大活躍に大感動。いよいよ八十路の仲間入り。無理せずゴルフを楽しみたい。コロナ禍を経て生活態様に工夫要か。

馬場 泰

あいづアーティスト応援プロジェクトを市内のカフェ等の店舗と連携して立ち上げました。作品発表、展示、販売の場、さまざまな人がつながり、交流を生む場になればと願っています。

岩橋 紀男

昨年末から足の障害で歩くのも辛いことがあり、好きな氷上釣りにも一度も行けませんでしたが、漸く快方に向かっていきます。元氣を出して「まだまだ」と山菜採りや川遊びも始めました。

齋藤 賢一

一ヘクタールの土地にパークゴルフ場を二コース造った。一日一万歩を超える程カップインの音に魅せられている。皆さんもやってみませんか。芝の維持管理をして待っています。

長尾 景晃

地球温暖化で近年降雪量が少なくなっています。ここ磐梯山の麓に暮らす私にとって冬の生活に雪が少ないうことはありがたいのですが、地下水枯渇が危惧され心配しています。

渡部 淳一

走行距離二五三〇キロ
今年五月、家内と車で中国地方一周の旅に行ってきました。心残りは、安芸の宮島に行けなかったことです。恨めしや、広島サミットでした。(泣)

大沼 辰雄

少し離れた畑の管理に手を焼いていた。手製のテントを設置し、ラジオとコーヒータンで取り組むことにしたら、テントで磐梯山を仰ぎながらの珈琲タイムが至福の時間となった。

齋藤 幸男

カフェめぐりをしています。冬に、街中の融雪歩道をウォーキングしていた時に思い立ちました。ケーキセットとコーヒータン一つずつ注文して、その店の味と雰囲気を楽しんでいます。

関和 征一

五月で八十一才になり、気力、体力共に衰えを感じながら生活している。医者に高血圧と言われて数十年薬を毎日飲み続けている。飲食に気をつけながら生活していきたい。

葉貫 正憲

裏磐梯で特定外来植物オハングソウの防除をしています。背丈が高い多年草でタネを大量にまき散らすため驚異的な繁殖力です。効果的な防除は一本一本根こそぎ引き抜くだけです。

渡部 裕二

四年ぶりに来若した兄弟婦と大内宿に行ってきました。参勤交代の様子が目に浮かぶようです。宿場に吹くさわやかな風を受け、久しぶりに心がすっきりする一日を過ごしました。



事務局コーナー

おめでとうございます

◇高齢者叙勲で受章された会員

瑞寶小綬章 野中 恒男様
令和5年5月1日

◇春の叙勲で受章された会員

瑞寶雙光章 高梨 光一様

◇功績により表彰を受けた会員
東北地区社会教育委員
連絡協議会長表彰

星 美法様

◇令和五年度「寿詞」

(満百歳)を受けられる会員

大竹 孝様
大正13年3月10日

◇令和五年度「賀詞」

(満九五歳)を受けられる会員

松本 肇様
昭和3年12月14日

渡部 光昭様
昭和4年1月9日

◇令和五年度「賀詞」

(満八十八歳)を受けられる会員

野中 恒男様
昭和10年4月19日

山ノ内 不二彦様
昭和10年7月20日

鈴木 司様
昭和10年10月10日

山野辺 喜勝様
昭和10年11月24日

小山 立亥様
昭和10年12月12日

福田 試作様
昭和10年12月17日

◇令和五年度「喜寿」を
迎えられる会員

岩沢 隆様
昭和21年6月5日

栗村 謙一様
昭和21年6月22日

星 幸雄様
昭和21年7月19日

生前のご活躍に感謝申し上げますとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

片山 俊雄様
令和5年3月29日ご逝去

湯田 重哉様
令和5年4月19日ご逝去

石井 信義様
令和5年6月28日ご逝去

佐藤 秀喜様
令和5年7月3日ご逝去

◇前号以降の主な活動
○会計監査・第二回理事会
・三月十七日(金)
於 會津稽古堂

○支部総会
・四月九日(日)
於 會津稽古堂
47名

○第一回幹事会
・四月二十二日(土)
於 會津稽古堂

○県評議員会
・四月二十六日(水)
於 吾妻学習センター

○連絡員会議
・五月十三日(土)
於 北会津公民館

○第57回福島県公立学校
退職校長会郡山大会
・六月十四日(水)
於 郡山ビューホテル
アネックス

○第二回幹事会
・七月十五日(土)
於 北会津公民館

○暑氣払い懇親会
・七月十五日(土)
於 ルネッサンス
中ノ島

クラブ設立Q&A

総会において、クラブ設立についての新しい基準が承認されました。次の「Q&A」をクラブを設立する際の参考にしてください。

Q 設立に必要な人数が、「五人程度」とは？

A 五人が目安です。人数にこだわらずに柔軟に対応するためですので、五人に満たない場合は、ご相談ください。

Q 新設するときの書類は？

A 決まった書式はありません。代表者名と連絡先、主な活動内容、クラブ員の名簿等を提出してください。

Q 報告書は提出するの？

A 報告書の提出は、必要ありません。しかし、広報部からの記事掲載の依頼に応じるなど、積極的に広報活動を行ってください。

Q 奨励金はいくらもらえるの？

A 今まで同様、一万円となります。

なお、不明な点は事務局までお問い合わせください。

編集後記

「悠悠ひろばやおたよりで、久々に懐かしい人の様子がわかってよかったあ」という声をよく頂戴します。広報紙発行の喜びを感じさせてもらえる瞬間です。昨年度、「スキーやりませんか」という声により、スキークラブが発足しました。広報紙でもその様子をお伝えしていきたいと思っています。ですが、交流の輪を広げるお手伝いを広報紙でも担えたら、とてもうれしいことです。広報紙が一つのきっかけとなり、新たな発信が生まれ、それに応える動きが生まれ、広がり、退職校長会にまた一つ、また一つと魅力が加わっていったらと願います。

昨年夏の八十一号で、「お譲りします」「一緒にやりませんか」等の声を広報紙に掲載したいと募集をかけました。しかし……。ぜひ発信の声をお寄せ下さい。さらに交流の輪を広げ、より充実した活動を重ねていきたいと思っています。